

事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	手代森污水处理施設維持管理事業			事業コード	0837
所属コード	908000	課等名	下水道施設管理課	係名	施設係
課長名	小綿 明	担当者名	武蔵 博行	内線番号	6507
評価分類	<input type="checkbox"/> 一般	<input checked="" type="checkbox"/> 公の施設	<input type="checkbox"/> 大規模公共事業	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 内部管理

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	快適な都市機能	コード	7	
	施策	健全な水環境・良好な水循環の創出	コード	6	
	基本事業	污水处理の充実	コード	1	
予算費目名	一般会計 4 款 2 項 1 目 手代森ニュータウン污水处理事業 (008-02)				
特記事項					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰越	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	昭和 57 年度
根拠法令等	盛岡市污水处理施設条例				

(2) 事務事業の概要

手代森ニュータウン污水处理施設の機能を適正に保持して放流水質を確保し、生活環境及び公共水域の保全の向上を図るものである。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

昭和 57 年に開発行為が完了したことに伴い、処理施設を旧都南村へ帰属した。施設管理の帰属については、区域内入居率が 70%に達した時点とし、平成 2 年に施設管理も旧都南村へ帰属したことによる。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

平成 23 年 6 月より流域関連公共下水道へ接続し、処理施設を廃止。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象（誰が、何が対象か）

○手代森污水处理施設（通用業務・水質分析は委託）

- ・污水处理施設の設備数
- ・流入汚水量
- ・利用人口

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 見込み
A 設備数(汚水処理, 汚泥処理, 脱臭, 消毒, 換気, 放流及び非常用発電設備)	ヶ所	7	7	7	7	0
B 流入汚水量	m ³	240,807	259,518	53,300	33,873	0
C 利用人口	人	1,420	1,420	1,420	1,420	0

(3) 23年度に実施した主な活動・手順

○ 施設設備維持管理基準に従い、適切な整備を行い機能の維持に努め、効率的で環境に配慮した施設の維持管理を行った。

- ・整備すべき対象設備等の選定
- ・修繕計画の資料作成
- ・発注
- ・施工管理
- ・検収
- ・日常点検の検収
- ・排出水の水質検査実施
- ・汚水処理場浚渫業務

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 修理, 委託及び改修等の実施件数	件	5	4	4	4	0
B 水質測定回数	回	24	24	4	4	0
C 施設巡回点検回数	回	127	144	16	27	0

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

○処理施設は流入汚水を排出基準に適合するよう処理し、生活環境及び河川等の公共水域の水質保全の向上に努める。

- ・処理施設が年間を通して停止させることなく安全・安定した施設管理をする。
- ・処理施設から放流水を「水質汚濁防止法」に規定する排水基準に適合するよう施設管理をする。
- ・pH 排出基準 5.8 以上 8.6 以下
- ・BOD 排出基準 160 以下
- ・SS 排出基準 200 以下
- ・大腸菌排出基準 3,000 以下

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績	26年度目標値
A 施設稼働達成率(達成日数÷年間日数)×100	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	%	100	100	100	100	0
B 処理水排水基準達成率(達成回数÷2回(6月に1回検査実施))×100	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	%	100	100	100	100	0
C 施設点検巡回(日常・異常対応)=(施設巡回点検回数÷104回(2回異常巡回:仕様書より))×100	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	%	100	100	100	100	0

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①	千円	0	0	0	0
	②	千円	0	0	0	0
	③ 方債	千円	0	0	0	0
	④ 一般財源	千円	9,457	8,727	358	0
	⑤ その他(汚水処理施設使用料)	千円	0	0	2,085	1,576
	A 小計 ①～⑤	千円	9,457	8,727	2,443	1,576
人件費	⑥ ベ業務時間数	時間	360	360	60	60
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	1,440	1,440	240	240
計	トータルコスト A+B	千円	10,897	10,167	2,683	1,816
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

本事業の実施により、汚水処理施設を適正に管理運営することが可能となり、排水基準が守られ、衛生的で安全な生活環境及び公共用水域の水質の保全を確保することができるので、施策の目的に結びついている。

② 市の関与の妥当性

下水道事業の一環であり、地方自治体が関与すべき事業である。

③ 対象の妥当性

設定対象指数で施設の状況が把握でき、妥当である。

④ 廃止・休止の影響

生活排水や事業所からの排水により、河川等の公共用水域の水質及び衛生的で、安全な生活環境が悪化し公衆衛生の保全が困難となる。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

老朽化した設備機器を計画的に改修することにより、施設の安定した管理運営が可能となる。

(3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

受益機会は、計画に基づき定められた区域内で行われていることから適正であり、費用の原資は、条例に定められている使用料である。

(4) 効率性評価

設備機器の経年劣化による不具合の発生は避けられないことから、事業の性質上経費を削減することは困難であるが、平成 23 年度 6 月に流域関連公共下水道への切替により事業費の削減が可能となった。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

コミュニティープラント単独施設から、流域関連公共下水道へ接続し施設を廃止した。しかし、切替後も、引き続き供用する管渠施設については、不明水及び浸入水対策を行う。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

1 既存施設の維持管理

流域関連公共下水道への切替後の施設解体撤去に係る調査検討、財源の確保、手法・工程を明確にする。

2 不明水，浸入水対策

効果的で効率的な調査手法の検討と実施

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

手代森ニュータウンの下水を適正に処理するために必要不可欠な事業であり、老朽化が著しい施設の適正な維持管理に努め、処理機能の保持に務めた。

なお、平成 23 年 5 月 31 日をもって本事業を終息し流域下水道都南処理区へ編入された。